

史實調査參考資料報告

摘要

所屬部隊
(固有名稱)

獨立混成第二十一聯隊

職官

陸軍中尉

終戦時ノモノヲ
記ス

全右所在地

徳之島

氏名

[Redacted Name]

支那事變以降ニ
於ケル自己ノ略
歴

ナシ

職ノ變更及主ナ
ル參加戰團名ヲ
記ス

所在部隊ノ編成
年月日及編制裝
備ノ概要

昭和十九年五月三十日編成
編制裝備 兩程度

所屬部隊作戰經
過ノ概要

沖繩作戰開始後主トシテ第六航空軍
ノ戦斗ニ協力

最後ノ所屬部隊
ヲ主ニシ向ソノ
以前ノ所屬部隊
ノ分ヲモ概記ス

終戦(又ハ主力
ノ戰闘終了)
後ノ概況

終戦後復員業務ニ従事昭和二十年
十一月二十三日旅団命令ニ依リ沖縄
米軍ニ依リ送セラレ
昭和二十一年三月二十七日浦賀上陸帰
還ス

歸還輸送ノ狀況
ヲモ併記ス

先
歸郷(又ハ連絡)

[Redacted]

其ノ他ノ參考事
項

備考

將校ニ記載セシメ第一復員省史實部ニ送付ス

10

10

19

關東、上陸地、支局
昭和 年 月 日

史實調査參考資料報告

摘要

所屬部隊 (固有名稱)	全右所在地	職官 氏名	終戦時ノモノヲ 記ス
独立混成第三聯隊	徳之島	小隊長 (歩八中隊) 陸軍中尉	職ノ變更及主ナル 參加戰鬪名ヲ 記ス
支那事變以降ニ 於ケル自己ノ略 歴	昭和十九年六月二十八日與論島守備隊長		
所在部隊ノ編成 年月日及編制裝 備ノ概要	昭和十九年五月二十日 丙種衣備		
所屬部隊作戦經 過ノ概要			最後ノ所屬部隊 ヲ主ニシ向ソノ 以前ノ所屬部隊 ノ分ヲモ概記ス
終戦(又ハ主力 ノ戰鬪終了) 後ノ概況	昭和十九年五月二十日古江屋ヲ沖線ニ轉進 昭和二十年三月二十三日沖線出發 昭和二十一年 三月二十七日浦島港歸還		歸還輸送ノ狀況 ヲモ併記ス
歸郷(又ハ連絡) 先	[Redacted]		
其ノ他ノ參考事 項			
備考	將校ニ記載セシメ第一復員省史實部ニ送付ス		

史實調査參考資料報告

摘要

所屬部隊 (固有名)	獨立混成隊第三聯隊	職官 小隊長	終戰時ノモノヲ 記ス
	德之島		
全右所在地	昭和十九年六月二十八日 與之翰島守備隊長	氏名	職ノ變更及主ナル 參加戰鬪名ヲ 記ス
支那事變以降ニ 於ケル自己ノ略 歴			
所在部隊ノ編成 年月日及編制裝 備ノ概要	昭和十九年五月三十日 丙壯衣備	最後ノ所屬部隊 ヲ主ニシ向ソノ 以前ノ所屬部隊 ノ分ヲモ概記ス	所屬部隊作戦經 過ノ概要
終戦(又ハ主力 ノ戰鬪終了) 後ノ概況	昭和十九年五月二十三日 古任屋ヲノ沖繩ニ轉進 昭和十九年五月三十日 沖繩 出島 昭和十九年 五月二十七日 浦賀自港帰還	歸還輸送ノ狀況 ヲモ併記ス	歸郷(又ハ連絡) 先
其ノ他ノ參考事 項			
備考	將校ニ記載セシメ第一復員省史實部ニ送付ス		

19

M

關東上陸地支局

昭和十一年三月廿八日

史實調査參考資料報告

摘要

所屬部隊
(固有名稱)

第21師隊

職官

陸軍中尉

全右所在地

龍見島、大島郡、徳之島

氏名

[Redacted Name]

終戦時ノモノヲ
記ス

支那事變以降ニ
於ケル自己ノ略
歴

独立混成第21師隊方中隊小隊長

職ノ變更及主ナル
参加戦闘名ヲ
記ス

所在部隊ノ編成
年月日及編制裝
備ノ概要

昭和十九年五月三十日
編制裝備乙

所屬部隊作戦經
過ノ概要

對付支那兵ノ戦斗ナシ

最後ノ所屬部隊
ヲ主ニシ向ソノ
以前ノ所屬部隊
ノ分ヲモ概記ス

終戦(又ハ主力
ノ戦闘終了)
後ノ概況

昭和十九年十一月廿六日沖繩牧野所ニ於
昭和二十年三月廿七日南賀上陸

歸還輸送ノ狀況
ヲモ併記ス

先
歸郷(又ハ連絡)

其ノ他ノ參考事
項

備考

將校ニ記載セシメ第一復員省史實部ニ送付ス

史實調査參考資料報告

摘要

所屬部隊 (固有名)	全右所在地	氏名	終戦時ノモノヲ 記ス
德島獨立混成第二聯隊	德島	聯隊本部附 陸軍中務大尉	職ノ變更及主ナル 参加戦闘名ヲ 記ス
支那事變以降ニ 於ケル自己ノ略 歴	昭和十九年九月 歩兵第三十聯隊附 昭和十九年八月 沖繩陸軍病院附 昭和十九年二月 獨立混成第二聯隊附	[Redacted]	職ノ變更及主ナル 参加戦闘名ヲ 記ス
所在部隊ノ編成 年月日及編制裝 備ノ概要	昭和十九年五月三十日 丙裝備	[Redacted]	職ノ變更及主ナル 参加戦闘名ヲ 記ス
所屬部隊作戦經 過ノ概要	昭和十九年三月 沖繩作戦開始 被襲同島ノ守備警戒ニ任ズ	[Redacted]	最後ノ所屬部隊 ヲ主ニシ尙ソノ 以前ノ所屬部隊 ノ分ヲモ併記ス
終戦(又ハ主力 ノ戦闘終了) 後ノ概況	[Redacted]	[Redacted]	歸還輸送ノ状況 ヲモ併記ス
先 歸郷(又ハ連絡)	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]
其ノ他ノ參考事 項	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]
備考	將校ニ記載セシメ第一復員省史實部ニ送付ス	[Redacted]	[Redacted]

Handwritten mark at the top of the page.

22

22

史實調査參考資料報告

摘要

所屬部隊 (固有名稱)	職官	終戦時ノモノヲ 記ス
獨立混成第三師團 鹿兒島縣大島郡德島 氏名	陸軍主計大尉 [Redacted]	職ノ變更及主ナル 參加戰關名ヲ 記ス
支那事變以降ニ 於ケル自己ノ略 歴	昭和十五年八月五日應召長崎要務司令部附 昭和十七年二月十五日下関要務司令部附ニ轉屬 昭和十九年二月五日在米大島要務司令部附ニ轉屬 昭和十九年五月十五日獨立混成第三師團附ニ轉屬	職ノ變更及主ナル 參加戰關名ヲ 記ス
所在部隊ノ編成 年月日及編制裝 備ノ概要	昭和十九年六月三十日編制完結 編制裝備 丙種	最後ノ所屬部隊 フ主ニシ向ソノ 以前ノ所屬部隊 ノ分ヲモ概記ス
所屬部隊作戦經 過ノ概要	沖繩作戦開始以後主トシテ航空戦斗ニ協力	最後ノ所屬部隊 フ主ニシ向ソノ 以前ノ所屬部隊 ノ分ヲモ概記ス
終戦(又ハ主力 ノ戰闘終了) 後ノ概況	終戦業務ニ従事部隊ハ秩序ヲ保シ整理ニ 完全ニ業務ヲ終了復員セシメ特設ノ一部ハ(小宮元) 米軍ノ指示ニテ神戶ニ出張 昭和二十一年三月 二十七日浦賀(上陸帰還)	歸還輸送ノ狀況 フモ併記ス
歸郷(又ハ連絡) 先	[Redacted]	歸還輸送ノ狀況 フモ併記ス
其ノ他ノ參考事 項	[Redacted]	歸還輸送ノ狀況 フモ併記ス
備考	將校ニ記載セシメ第一復員省史實部ニ送付ス	歸還輸送ノ狀況 フモ併記ス

史實調査參考資料報告

摘要

所屬部隊 (固有名稱)	職官	終戰時ノモノヲ 記ス
獨立混成第三聯隊 廣島縣大島郡 神戶市 氏名 [Redacted]	野砲少隊長 陸軍中尉 [Redacted]	職ノ變更及主ナル 參加戰關名ヲ 記ス
支那事變以降ニ 於ケル自己ノ略 歴	自昭和十九年五月三十日 至昭和十九年九月二十四日 第三大隊副官 自昭和十九年九月二十五日 至昭和二十年八月十四日 野砲少隊長	職ノ變更及主ナル 參加戰關名ヲ 記ス
所在部隊ノ編成 年月日及編制裝 備ノ概要	昭和十九年五月十九日山口西郡第四初隊ニ於テ 改編成昭和十九年五月二十日編成 裝備五程後	職ノ變更及主ナル 參加戰關名ヲ 記ス
所屬部隊作戰經 過ノ概要	中總作戦開始後予テ航空作戦ニ協力	最後ノ所屬部隊 ヲ主ニシ向ソノ 以前ノ所屬部隊 ノ分ヲモ併記ス
終戦(又ハ主力 ノ戦闘終了) 後ノ概況	終戦後復員業務ヲ統率 昭和二十年十月二十日言林田命居依リ中總米軍 上下出張 昭和二十年三月二十七日浦原上陸帰還	歸還輸送ノ狀況 ヲモ併記ス
歸郷(又ハ連絡) 先	[Redacted]	歸還輸送ノ狀況 ヲモ併記ス
其ノ他ノ參考事 項	[Redacted]	歸還輸送ノ狀況 ヲモ併記ス
備考	將校ニ記載セシメ第一復員省史實部ニ送付ス	歸還輸送ノ狀況 ヲモ併記ス

史実調査参考報告

所屬部隊 獨立混成第三聯隊 職 聯隊長 陸軍大佐
 右所在地 奄美群島徳之嶋 氏名

支那事変以降、昭一、九ヨリ歩兵第一九聯隊補充隊長
 昭一、三、七、五歩兵大佐 昭一、四、三、三ヨリ歩兵第五聯隊長
 ト、七、北支、出、征、山、西、省、臨、汾、周、辺、戦、斗、に、從、事、
 昭一、五、三、九ヨリ小倉聯隊区司令官トシテ服務
 昭一、七、四、一ヨリ西部軍司令部ニテ服務
 昭一、七、八、一奄美大島要塞司令官トシテ奄美群島防衛
 二從事ス、昭一、九、五、一ヨリ 獨立混成第三聯隊長トシテ奄美群島防
 衛ニ從事ス

所屬部隊 編成年月日 及編制裝備
 編成 昭一九、五、三〇 奄美大島古仁屋ニ於テ編成完結ス
 其編成ハ聯隊本部ニテ大隊二大隊ハ三中隊及mg一中
 聯隊砲一中、連射砲一中、工兵一中ニシテ歩兵中隊ハ四
 中隊及小銃トシmg中隊ハ四、聯隊砲ハ四山砲連射
 砲ハ三七ミリ連射砲四門ヲ有ス

却隊ハ昭一九、六、月、以、來、其、管、轄、地、構、築、補、給、等、昭、言
 三、二、以、降、敵、機、ノ、未、前、襲、撃、烈、ト、ナリ、射、撃、戰、闘、飛、行
 場、補、修、作、業、ニ、専、念、セ、シ、ガ、沖、繩、戰、闘、進、捗、ト、共、ニ、敵
 機、ノ、未、前、襲、撃、烈、ト、ナリ、敵、機、ノ、奄、美、群、島、特、ニ、
 徳、之、島、上、陸、ヲ、必、至、ト、見、作、ル、日、夜、敵、機、ノ、襲、撃、ニ、對、
 空、戰、斗、ノ、傍、上、陸、作、戰、ノ、準備、ニ、進、慮、ナ、キ、ヲ、期、セ、シ、
 ガ、八、月、十、五、日、遂、ニ、終、戦、ノ、詔、書、ヲ、接、承、セ、リ

終戦又ハ全力
 戦斗終了
 後ノ状況
 八月五日終戦、詔勅ヲ接承シ、同果敢為ス所ヲ知ラ
 ズ、然レモ我が奄美部隊ハ甚ニ激烈ナル戦斗を遂ヘ、不
 シテ終戦ヲ迎ヘ、遺憾至極ナリシモ、詔書煥發セラ
 レタリ、上ノ誨ヲ悉クシテ、米軍ニ對シテ奮闘引込シ、復員ノ
 準備ニ着手セリ

歸郷又ハ八連
 終戦



60

其他
 終戦後大部ノ復員ヲ完了セシモ、小佐以下將校四
 名ハ米軍中ノ内地帰還不許可トナリ、昭和二十五年五月
 二十三日古仁屋出航中、沖繩本島ニ根據地抑留セラル、昭和三十
 年三月六日補給上陸、同月九日復員ナリ

備考
 將校一部是記載セシメ、第一復員省史実部ニ送付ス